

ことば	読み	出現頻度	レベル	品詞	例文	備考
オブジェクト	オブジェクト	8	級外	名詞	この博物館では、歴史的な <u>オブジェクト</u> が多数展示されている	
細部	さいぶ	11	級外	名詞	この歴史のドラマは、セットの <u>細部</u> にまでこだわって、当時の時代を再現している。	
自己	じこ	14	NI	名詞	<u>自己</u> 紹介をお願いします。／彼はいつもあまり <u>自己</u> 主張をせず、他の人の意見を尊重している。	
相似	そうじ	14	級外	名詞・する動詞	この2つの三角形は <u>相似</u> で、対応する辺の比が等しい。／鳥の羽と虫のはねの形は <u>相似</u> している。	数学や生物で使われることが多い。
樹木	じゅもく	8	NI	名詞	公園にはたくさんの <u>樹木</u> が植えられており、四季によって違った景色を楽しめる。	
カリフラワー	カリフラワー	5	級外	名詞	シチューに <u>カリフラワー</u> が入っている。	白い野菜でブロッコリーと形状が似ている。
入道雲	にゅうどうぐも	3	級外	名詞	<u>入道雲</u> が出ていると、そのあと激しい雨が降る可能性がある。	
山肌	やまはだ	6	級外	名詞	富士山の <u>山肌</u> には、5月になっても雪が残っている。	
線香	せんこう	2	級外	名詞	仏前(ぶつぜん)に線香を供(そな)えて、手を合わせた。	「線香花火」は、こより(紙をひねって作ったひも)に火薬を入れた、手で持つ花火。
泡立ち	あわだち	2	級外	名詞	このシャンプーは <u>泡立ち</u> がよくない。	動詞「泡立つ」の名詞形。
泡立てる	あわだてる	2	級外	動詞	卵白(らんばんく)を <u>泡立て</u> て、メレンゲを作った。	「泡立てる」は他動詞で、自動詞は「泡立つ」。
植え込み	うえこみ	2	級外	名詞	道端(みちばた)の <u>植え込み</u> にはきれいなピンク色の花が咲いており、道行く人々の目を楽しませてくれる。	
クローズアップ	クローズアップ	3	級外	名詞・する動詞	①映画では、まずそこにいる群集を映し出し、次にカメラを近づけて主人公をクローズアップして、紹介する手法がよく用いられる。②どのニュース番組でも、事件をクローズアップして詳しく報道している。	①映画や写真で大写しにする、②ニュースや新聞などで大きく取り上げる。
枝分かれ	えだわかれ	2	級外	名詞・する動詞	①樹木は、枝分かれて大きくなりすぎると、見た目が悪くなったり、周りに迷惑をかけたりするので、定期的に切る必要がある。②茶道の流派(りゅうは)は <u>枝分かれ</u> している。	①木や植物の枝が分かれていること、②一つのが複数のに分かれていること。
見て取る	みてとる	3	級外	動詞	最近の学生は、連絡先を交換するとき、SNSのアカウントを教えるといい、コミュニケーションツールの変化が <u>見て取れる</u> 。	
ミニチュア	ミニチュア	54	級外	名詞	<u>ミニチュア</u> 作品は、親指の爪(つめ)ぐらいのサイズだが、精巧(せいこう)に作られていて、まるで本物のようだ。	
有限	ゆうげん	4	級外	名詞	資源は <u>有限</u> である。	対義語は「無限」。
合併	がっぺい	3	NI	名詞・する動詞	この会社は業界大手の会社に吸収(きゅうしゅう) <u>合併</u> されることになった。	「合併」は組織的に一つになることを言うことが多い。二つ以上のものが、ある目的のために一時的に一つになる場合は「合同」を使う。
はじける	はじける	2	級外	動詞	①この植物は、花が咲いた後、実がなると、実が <u>はじけて</u> 種が下に落ちます。②卒業パーティーでは、笑い声が <u>はじけた</u> 。③友達とカラオケに行って、 <u>はじけた</u> 。	①中身がいっぱいになって、割れて開き、中身が飛び散る、②何かが飛び散る、③はめを外して、騒ぐ。
次元	じげん	54	級外	名詞	絵や図面は2 <u>次元</u> であることから、アニメやマンガの世界も「2次元」と呼ばれる。	
葉っぱ	はっぱ	3	級外	名詞	この植物の <u>葉っぱ</u> は、ほとんど虫に食われてしまった。	